

1. 単元名 『奈良の大仏さん』をつくって、わらべうたについて考える

2. 単元の目標

- ・ (知識・技能) わらべうたの構成音とフレーズを理解し、それを生かして表現するために課題に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。
- ・ (思考・判断・表現) 選択した音や組み合わせてできるフレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら表現したいわらべうたのイメージをもち、どのように創作表現するかについて思いや意図をもつ。
- ・ (主体的に学習に取り組む態度) 創作活動を楽しみながら、わらべうたと生活との関わりや、音楽によって生活を明るく豊かなものにするについての学習に主体的・協働的に取り組む。

3. 単元について

(1) 教材観

奈良県の愛唱歌集に掲載されている『奈良の大仏さん』とは歌詞と旋律が少し異なるもう一つの『奈良の大仏さん』を教材とし、わらべうたの多様性や持続発展性について考えさせる。多様性のある『奈良の大仏さん』やわらべうたに触れることができると考える。

今回扱う『奈良の大仏さん』は4小節×4フレーズで構成されており、わらべうたの中でも構造的でわかりやすい。そのため、その特徴を利用して曲をつくることは音楽の構造を理解する上で効果的である。

また、奈良の歴史や文化的背景と関わらせて学ぶことにより、世界遺産や地域文化への理解を深められるとともに、郷土の伝統音楽は人々の身近な暮らしや地域の風土と関わって生み出された貴重な文化であり、今後も大切に継承していかなければならないことを実感させたい。

(2) 生徒観

幼い頃にわらべうたで遊んだ経験がある生徒は多い。また、奈良市音声館でわらべうたについて学習している小学校もある。わらべうたについて、改めて全員で学習し、「わらべうたの今までとこれから」について考える。創作に関しては、歌唱や器楽演奏よりも学習経験は少ない。そのため、創作に対して消極的な生徒もみられる。歌うことは好きな生徒たちなので、自分たちがつくった作品を歌うことを通して、創作する楽しさや喜びを味わわせたい。

(3) 指導観

4人×4グループに分かれ、グループで1フレーズを創作していく中で、1人ひとりが1小節を担当し、試行錯誤・意見交換を通して責任感と連帯感をもって主体的・対話的に取り組む力を育む。

グループで創作した旋律をつなぎ合わせて出来た作品を全員で歌い、つくった旋律を評価し合うことで、歌いやすさや仕上がりのイメージなど、練り直しのポイントを考える。完成させた作品を通して達成感や、わらべうたの楽しさやよさを味わい、なぜ昔から受け継がれているのか、わらべうたを

継承していくために、自分たちにはどのようなことができるのかを考えさせる。

- ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）
 - 多様性：よく知られている『奈良の大仏さん』ではない曲との比較
 - 責任性：わらべうたを伝承していくために考えること
- ・本学習で育てたいESDの資質・能力
 - 他者と協力する力：グループで1フレーズを創作すること
 - 批判的に考える力：意見交換により作品を練り直すこと
- ・本学習で変容を促すESDの価値観
 - 人権・文化を尊重すること：なぜ、わらべうたが歌い継がれてきたかを考えること
 - 幸福感に敏感になり、それを大切にする：わらべうたで遊ぶことや創作活動によって、楽しみを感じる
- ・達成が期待されるSDGs
 - 目標4：質の高い教育をみんなに
 - 目標17：パートナーシップで目標を達成しよう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
わらべうたの構成音とフレーズを理解し、それを生かして表現するために課題に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	選択した音や組み合わせでできるフレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら表現したわらべうたのイメージを持ち、どのように創作表現するかについて思いや意図を持っている。	創作活動を楽しみながら、わらべうたと生活との関わりや、音楽によって生活を明るく豊かなものにするについての学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

5. 単元の指導計画（全2時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○わらべうたについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>なぜ、わらべうたは歌い継がれてきたのか？ どのように伝承していくのか？</p> </div> <p>○グループごとに『奈良の大仏さん』を1フレーズ創作する。</p> <p>○創作した旋律をつなぎ合わせて1つの曲にする。</p>	<p>・旋律の構成音とフレーズを確認する。</p> <p>・創作はタブレットの鍵盤アプリを使用して行う。</p>	△ア・ウ

2	<p>○前時の作品を練り直し、完成する。</p> <p>○創作活動の感想文を書き、また、自分なりのわらべうたの伝承方法を考えて、発表し合う。</p>	<p>・前時の作品をプリントにして配布し、歌わせる。</p> <p>・感じたことや気づいたことを、自分の言葉でまとめさせる。</p>	<p>△イ</p> <p>△ウ</p>
---	--	--	---------------------

宮下俊也(2019)『ESDとしての音楽授業実践ガイドブック ー小学校・中学校・高等学校・教員養成大学ー』平成 27～30 年度科学研究費補助金 基板研究(C)(課題番号 15K04434)研究成果報告書 課題研究「21 世紀を生きる人材育成を指向した ESD としての音楽科カリキュラムと授業実践開発」

劉麟玉(2016)『奈良県のわらべうた教材作成と授業実践プランの開発 ーESDとしての音楽科教育を実現させるためにー』平成 27 年度奈良教育大学「ESD を核とした教員養成の高度化(運営費交付金)」プロジェクト研究成果報告書

わらべうた『奈良の大仏さん』のリズム型と構成音を使って曲を作ろう

奈良の大仏さん

奈良のわらべうた

活動2♪ 自分たちのグループに与えられたリズム譜に、活動1で確認した音を好きなようにはめてみよう。

※リズム譜1～3のグループの最後の音は「ミ」か「ラ」を選ぶこと。
リズム譜4のグループの最後の音は必ず「ラ」で終わること。

リズム譜1 $\frac{2}{4}$ ♯

リズム譜2 $\frac{2}{4}$ ♯

リズム譜3 $\frac{2}{4}$ ♯

リズム譜4 $\frac{2}{4}$ ♯

活動1♪ 『奈良の大仏さん』の階名を書いて、使われている音を確認しよう

() 音階

活動3♪ てきあがった旋律を下の五線譜に書き起こそう

活動4♪ グループごとに創作した旋律を組み合わせて1つの曲を完成させ、みんなて歌ってみよう

組 番 名前

(資料1 ワークシート わらべうた『奈良の大仏さん』のリズム型と構成音を使って曲をつくろう)